## 〈平成28年省エネルギー基準対応〉

# JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書(附属書)

自己適合宣言書番号		APS0001	附属書番号	APF0005-4					
発行者の名称		YKK AP株式会社							
作成日		2016年12月28日	改訂日	2020年10月1日					
商品	APW430								
仕様	アングル付、アングル無(アングル付同等納まり)								
	アングル付、アングル無(アングル付同・寿納まり) ・たてすべり出し窓 単窓、FIX段窓、FIX連窓、ウインドキャッチ連窓 ・すべり出し窓 単窓、FIX段窓、FIX連窓 ・FIX窓 ・ツーアクション窓 単窓、FIX段窓、FIX連窓 ※アングル付の設定はありません								

### ■ガラス構成ごとの開口部の熱貫流率区分・開口部の日射熱取得率

			アルゴンガス入り(樹脂スペーサー仕様)								
			一般ガラス							防災安全ガラス	
			透明			型				透明 (30mil)	型 (30mil)
			JAP3 (EAP3)	JEP4	JZP4	JBP3	JFP3	JFP4	JFP5	JXP3	JJP3
	室外ガラス厚			(EEP4)	(EZP4)	(EBP3)	(EFP3) 4	(EFP4)	(EFP5)	(EXP3)	(EJP3) 4
		中空層厚	3 16	15	15	16	15	15	14	14	14
ガラス	ス構成	中間ガラス厚	3	4	3	4	4	4	4	3.3	3.3
		中空層厚	16	15	15	16	15	15	14	14	14
		室内ガラス厚	3	4	4	3	3	4	5	3	3
		日射遮蔽型ニュートラル	2	2	2	2	2	2	3	3	3
熱貫流		日射遮蔽型ブルー	1	2	(N)	1	2	2	2	2	2
率区分		日射遮蔽型ブロンズ	1	2	2	1	2	2	2	2	2
	シングル Low-E	日射取得型ニュートラル	4	4	4	4	4	4	5	5	5
		日射遮蔽型ニュートラル	0.34	0.33	0.34	0.34	0.34	0.33	0.34	0.33	0.33
日射熱		日射遮蔽型ブルー	0.21	0.22	0.22	0.21	0.21	0.22	0.22	0.21	0.21
取得率		日射遮蔽型ブロンズ	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.21	0.21	0.21
	シングル Low-E	日射取得型ニュートラル	0.41	0.39	0.40	0.41	0.40	0.39	0.40	0.39	0.39

・熱貫流率(①~⑤)は開口部の熱貫流率 性能一覧を参照ください。

·() 内のガラス記号はシングルLow-Eのものを示す。

## ■開口部の熱貫流率 性能一覧

	■闭口叩♡尽食心平 注形 克											
樹脂スペーサー仕様												
	区分記号	ガラス中央部の 熱貫流率 [W/m <sup>®</sup> K]		開口部の熱貫流率[W/mgK]						**	建具と	
				付属部材 無し	シャッター 又は 雨戸あり	※障子 あり	風除室あり	試験値	計算値	簡易的 評価	ガラスの 組合せ	
	1	0.60	以下	0.89	0.86	0.83	0.82	0				
	2	0.65	以下	0.90	0.87	0.84	0.83	0				
	3	0.67	以下	1.03	0.99	0.95	0.94		0			
	4	0.95	以下	1.16	1.10	1.06	1.04	0				
	5	0.96	以下	1.25	1.19	1.14	1.12		0			

※障子は和障子などを示す。

#### ■本附属書について

- 本附属書は、対応する自己適合宣言書とあわせてご使用ください。
- ・本書の記載内容は、製品の仕様変更等によって、予告なく修正する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 修正となった場合には、自己適合宣言書の更新によって公開いたしますので、常に最新の情報をご参照ください。

### ■開口部の熱貫流率について

- ・試験値は、JIS A 4710に基づく試験により測定された代表試験体の熱貫流率です。
- ・計算値は、JIS A 2102-1に基づいて一般社団法人 リビングアメニティ協会が運営するWindEye (開口部の熱性能評価プログラム)により計算された 代表試験体の熱費流率です。
- ・簡易的評価は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」の「熱貫流率及び緩熱貫流率」に基づき計算された熱貫流率の値です。
- ・建具とガラスの組み合わせは、一般社団法人 日本サッシ協会ホームページ内「建具とガラスの組み合わせ」による開口部の熱質流率表(住宅用窓の簡易的評価)に 基づく開口部の熱質流率です。
- ・代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」の「窓、ドアの熱貫流率に関し試験体と同等の性能を有すると認められる評価品の範囲に定める基準」に基づき選定したものです。

#### ■開口部の日射熱取得率について

- ・国立研究開発法人、建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」に基づき JIS R 3106に基づいて一般社団法人 リビングアメニティ協会が運営するWindEye (開口部の熱性能評価プログラム)により算定されたガラスの日射熱取得率の 値を用いて枠の影響を未腐した開口部の日射熱取得率です。
- ・当社ホームページ内「①建具とガラスの組み合わせ、開口部の熱貫流率・日射熱取得率」の値もご使用いただけます。